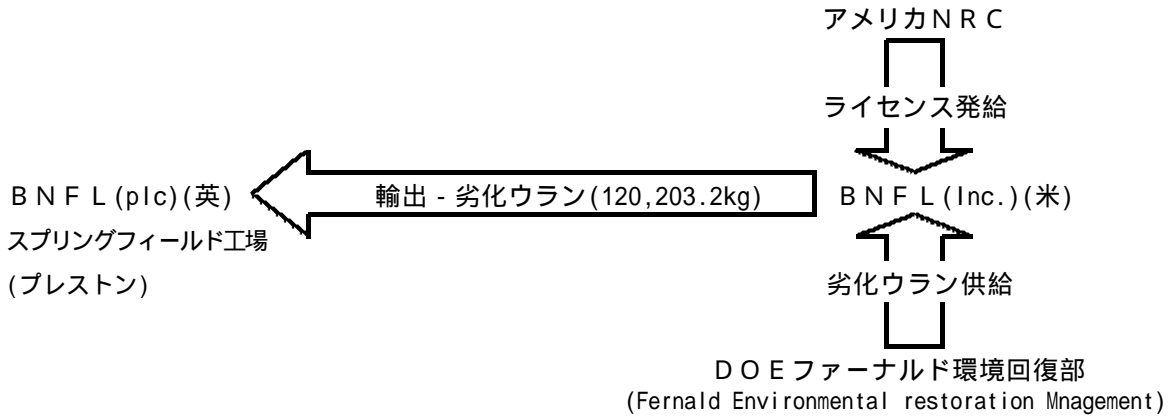


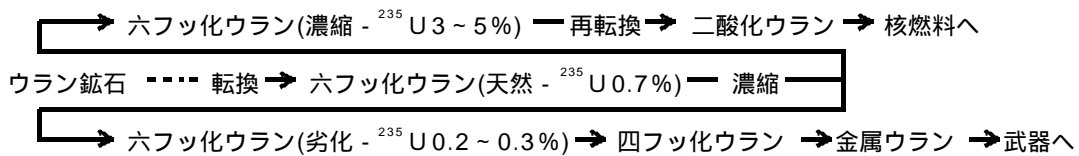
# 事実関係の整理

## 1. アメリカの輸出ライセンスが示すBNFLへの劣化ウランの流れ

### (1) 1993年10月 ライセンスXSOU8725



120,203.2kgの劣化ウラン(金属)は158,758.95kgの四フッ化ウランの形態で輸出。



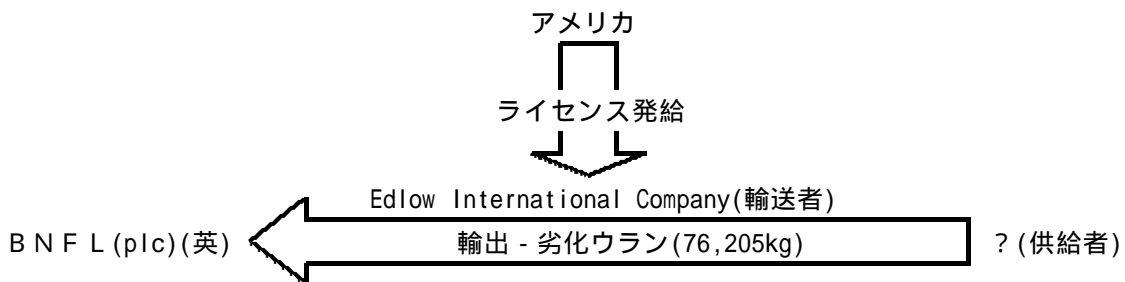
約120トンのウランは少ない量ではない。120mm戦車砲弾における劣化ウランの重量は約5kg。単純計算で、120トンの劣化ウランから、2万4千発の砲弾が製造できることになる。湾岸戦争でアメリカが使用した劣化ウランの総量は約350トンとされている。

約120トンの劣化ウランの内訳は、ライセンスによれば、95%が兵器用、5%が民生用となっている。

輸出ライセンスは、「製造された軍需品を、NATOのメンバー、日本、オーストラリア、ニュージーランドに再輸出することを許可」している。

plcはpublic limited companyで株式公開会社の意、イギリス式表記で、アメリカの子会社であるBNFL Inc. と区別して、イギリスにあるBNFL本体を指す。

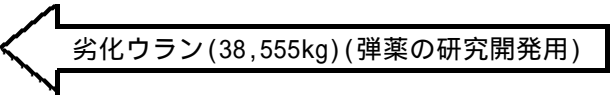
### (2) 1990年6月 ライセンスXSOU8695



Edlow International Company(本社ワシントンD.C.)は核燃料等、核関連の輸送会社

**( 3 ) 1992年2月 ライセンスXSOU8719**

B N F L (plc) (英) (最終荷受者)



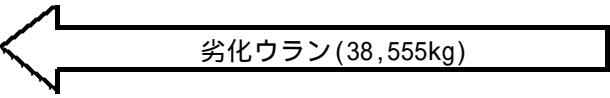
? (供給者)

"Uranium Battlefields Home & Abroad (Rural Alliance for Military Accountability & Citizen Alert)" によると、XSOU8719での輸出量は18,144kgとなっている。W I S E 返答メールにある38,555kgは誤記と思われる。

また、"Uranium Battlefields Home & Abroad" は、1992年1月のライセンスXSOU8717で、84,824 kgの輸出があったとしている。現在判明している輸出ライセンスから、B N F L に渡った劣化ウランの総計は、約340トである。

**( 4 ) 1992年8月 ライセンスXSOU8716**

B N F L (plc) (英) (最終荷受者)



? (供給者)

**2 . B N F L による劣化ウラン弾の製造**



B N F L ランカシャープレストンのスプリングフィールド工場



- 劣化ウランの砲弾(戦車120mm砲弾)部品への加工

英国兵器特殊金属(Royal Ordnance Speciality Metals Ltd.)

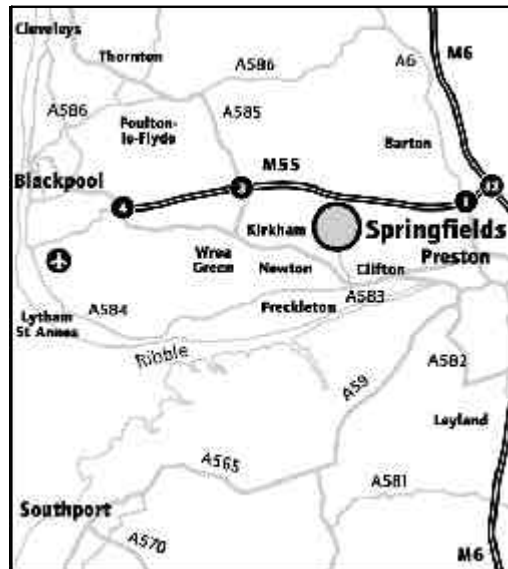
英国兵器会社(Royal Ordnance PLC) Wolverhamptonにある

- 砲弾への最終仕上とテスト

B N F L の各サイト

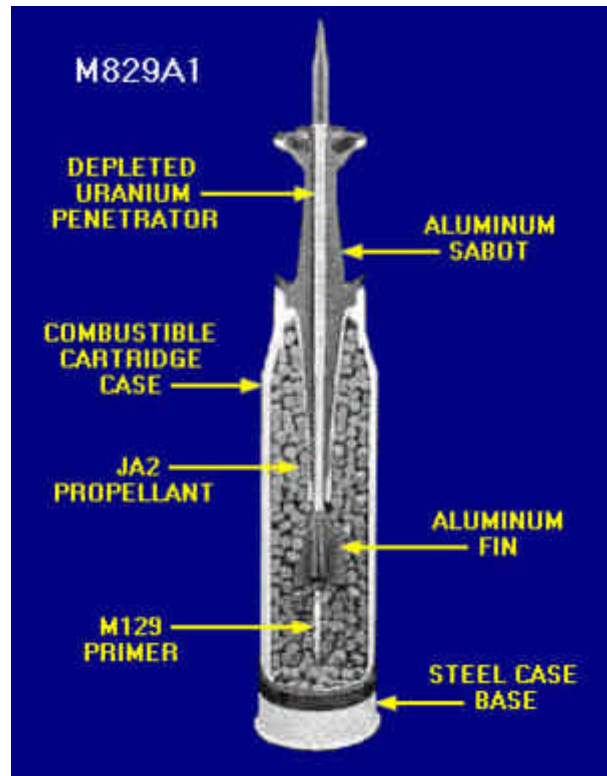


スプリングフィールド工場周辺





R O社製 APFSDST L26 CHARM1  
 チャレンジャー戦車で使用  
 全重量:8.5kg 全長:525mm  
 "RO Defence 120mm tankgunammunition  
 (Jane'sDefense Weekly2001 08 January)"から転載



劣化ウラン - A P F S D弾の構造

### 3 . 演習場での劣化ウラン弾のテスト

西カンブリア沿岸にある、Eskmeals演習場では、湾岸戦争後の数年間を含む、1981年から1995年まで、劣化ウラン弾のテストプログラム(イギリス、チャレンジャー戦車での使用を含んでいる)を実施。

また、南西スコットランドのKirkudbridge演習場でのテストプログラムは1982年に始まり、今日まで続く。

両演習場でのテストは、国防省からD E R A (Defence Evaluation and Research Agency)に委託。

### 4 . B N F Lの劣化ウラン保有量

B N F Lによると、1989年時点での劣化ウラン保有量は -  
 セラフィールド：100トン    チャベルクロス：5000トン    ドーンレイに：50トン  
 カペンハースト濃縮工場：1万8400トン    スプリングフィールド工場：6200トン  
 総計：2万9750トン

Eskmeals演習場周辺図(1マス1km)



Eskmeals演習場とセラフィールドとの位置関係 - 約12～15km( 1マス10km)



## 5 . 劣化ウラン輸送についてその他

1994年のNRC Handelsblad紙の記事"Nato Anti-Tank Ammunition is Made of Toxic Depleted Uranium"によれば、1993年～94年、米 Nuclear Metal Inc. (現スターメット社)は、2,000トンの金属ウランを英仏に輸出している。

また同紙によれば、1986年～92年、総計130トンの劣化ウランが、主にテネシー航空兵器(Aerojet Ordnance Tennessee, AOT)によって、イギリスとフランスに運ばれた。

さらに同紙によれば、BNFLへの約158トンの四フッ化ウランの輸送は、93年から94年にかけて、2回行われている。